

## 国立音楽大学同調会 2024年度 代議員会 会議録

日 時：2024年8月1日（木）午後2時30分より午後4時05分まで  
会 場：国立音楽大学6号館101室（大講義室）  
出席者：42名（議決権者の総数：49名、この内欠席7名、委任状提出6名）  
配付物：議事次第、出席者名簿、2023年度活動報告、会計報告、監査報告書、2024年度活動計画（案）、各同調会主催演奏会助成金給付規程（案）、各同調会主催演奏会助成申請の手引き（案）、演奏会助成申請書（案）、2024年度予算書（案）、同調会規約改正（案）、同調会奨学金規程改正（案）、大学関係資料：OPEN！2024、秋のオープンキャンパスチラシ、授業公開チラシ、芸術祭無料体験レッスンチラシ

冒頭、司会の杵渕学務部部长・代議員より、代議員会の配付資料が確認された。次に本日の会が成立要件を満たしていることが伝えられた。その後、議事次第に沿って進行した。

はじめに、武田忠善会長が挨拶をし、続いて顧問の重盛次正理事長、梅本実学長、山下洋輔前会長よりご挨拶をいただいた。

続いて規約第8条第4項により指名された議長：石本陽子氏（幹事）、副議長：浅野清氏（幹事）による進行のもと、配付資料に沿って以下の内容が審議・報告された。

### 【審議事項】

#### 1. 2023年度活動報告〈神宮寺淑子 幹事代表〉

活動報告の内容は配付資料および以下のとおり。

- 1 会議報告：代議員会、役員会の実施日等について。
- 2 同調会ニュースの発行：通巻100号を7月に発行した。記念号特集として各同調会から寄稿いただいたことへの御礼が述べられた。
- 3 卒業記念品の製作：2022年度同様の卒業証書入れを製作した。
- 4 同調会 Web サイトの更新
- 5 賛助金（寄付）の募集：2022年度に続き第7回の募集となった。268,110円（年間目標額500,000円）の寄付が集まった。
- 6 奨学金の給付：6名の優秀な学生に給付した。
- 7 県人会助成金の給付：4団体に助成した。
- 8 第13回ホームカミングデイの開催：昨年同様に「第6回くにたち賞」の表彰式、受賞者によるトーク&コンサートに加え、「懇親ティーパーティー」を開催し、「くにたち写真展」も実施した。新型コロナウイルスの感染状況が収束し来場者の制限を廃止したため、2022年度まで実施していた収録は取りやめた。特別企画として、大学を定年退職された先生方を招待した。
- 9 第7回くにたち賞の受賞者選考：4名の活動・実績・功績が顕著な卒業生が受賞者として決定された。受賞式はホームカミングデイ2024にて行う。
- 10 各同調会主催演奏会への教員派遣：3同調会で実施された。
- 11 各都道府県同調会へのアンケートの実施：各都道府県同調会の活動実態を調査した。アンケートの結果は代議員会で報告し、課題については役員会で検討された。

- 12 同調会オリジナルグッズの製作：トートバッグの売れ行きが良く、追加生産した。
- 13 コロナ化に対応する同調会からの学生支援

## 2. 2023 年度 会計報告 <蓮見浩志 総務・財務部経理課課長・代議員>

前項の議事 1 の実施等に伴う会計について報告した。内容は配付資料のとおり。差額の表記方法について、昨年度の代議員会にて分かりづらいという意見が出たことについて検討したが、結論としては、表記方法は変更しないこととした。同調会の会計報告は大学の決算書（文科省からの指導に基づき作成している）と連動しているためである。「支出の部」では、映像制作を取りやめたため決算が予算を大きく下回った。同調会グッズ手数料が予算を大きく上回ったのは収入（売上）に応じている。

## 3. 2023 年度 監査報告 <小川哲生 会計監査人>

代議員会に先駆けて、同調会会計監査人の小川哲生氏と堀江志磨氏が監査を行った。小川氏より、監査の結果、収支状況が正しいことが報告された。

以上について質問、意見等はなく、2023 年度活動報告、会計報告及び監査報告について拍手で承認された。

## 4. 2024 年度 活動計画案 <藤沢章彦 副会長>

活動計画案の内容は配付資料および以下のとおり。

- 1 会議予定：代議員会と役員会について。
- 2 同調会ニュースの発行：通巻 101 号を全 8 ページで発行した。従前は全 4 ページであったが、私信扱いにならないよう同調会ニュースと同封していた内容を記事へ盛り込むため、全 8 ページとした。当面はこの方法で作成する。
- 3 卒業記念品の製作：2023 年度と同様に製作する。
- 4 同調会 Web サイトの更新：2023 年度同様に更新し運用する。
- 5 賛助金（寄付）の募集：第 8 回でいただく賛助金は大学の創立 100 周年を祝う寄付へ全額充当する。
- 6 奨学金の給付：第 8 回も 3 月頃に給付予定。
- 7 県人会助成金の給付：第 8 回も 2 月頃を予定。
- 8 第 14 回ホームカミングデイの開催：昨年度は定年退職した教員を招待したが、今回は行わず 2、3 年様子を見て再度企画する。例年通りの内容とする。
- 9 第 8 回くにたち賞選考の実施：推薦についてぜひ協力をお願いしたい。
- 10 各同調会主催演奏会への教員派遣：4 同調会で開催予定
- 11 各同調会主催演奏会助成金の給付：下段（議事 5）参照

## 5. 各同調会主催演奏会助成金給付制度について<藤沢章彦 副会長>

まずは本制度を立ち上げた経緯について、各都道府県同調会へのアンケート結果に地域の演奏会への助成を希望する意見が多数挙がったためであることが説明された。制度の内容については配付資料のとおりで、事前に各代議員へ郵送した資料との変更点について、下記のとおり共有された。

変更点：各同調会主催演奏会助成金給付規程の第2条（1）について；

修正前...本学の教員及び卒業生を招いて行われる演奏会であること。

修正後...本学の教員（元教員を含む）、卒業生を招いて行われる演奏会であること。

議事5について、以下の質疑応答があった。

[代議員]経費区分及び帳簿等の整理保管について、費目に制限はあるのか。あるいは制限無しで、全体に対しての10万円給付となるのか。

[答弁]特段制限はない。10万円の充当先が明確で、それに関連する領収証等の証拠書類が保管されていれば差支えない。

[代議員]助成金交付の時期が知りたい。また助成対象事業の要件について、当同調会の会員が所属する、卒業生による合唱団を作った。その合唱団が出演する演奏会も要件にあてはまるか。

[答弁]交付の時期は「申請の手引き」のとおり、申請書を受理した翌月末に交付する予定である。要件については、招く形にするのであれば問題ない。

[代議員]申請の受付期間が2024年9月2日～2025年2月28日となっているが、受付を9月から開始とする理由を教えてください。当同調会では毎年3月にくにたちコンサートを予定しており、上記の受付期間にあてはまらない。

[答弁]今年からの新規事業として審議しているため、今年度限定の受付期間となっている。来年度以降の受付期間は年度ごとのサイクルになるように整え、改めて周知する。

[代議員]本制度案は良い制度だと思うが、原資が足りなくなるのでは。

[答弁]現状その心配は無い。予算として、20件分の計200万円を予算案へ計上している。今年度実施してみて件数が多いようであれば、給付額の削減や交付件数の上限の策定を検討する。

[代議員]規程案の第9条「各同調会は、助成対象事業に関する経理について、他の経費と区分し～」というのは、各同調会の年間の収支の中で助成金の収入が（演奏会分として）独立していればよいのか、あるいは助成金10万円の収入に対する支出の経理を独立させればよいのか。

[答弁]前者のとおりで各同調会の帳簿が整えられており、その帳簿へ演奏会収入の一部として、助成金が明記されていればよい（使い道が不明にならない限り）。

「申請の手引き」に黒字でもよいと記載している。コンサートの支出が10万円に満たず余った場合は、同調会の活動金へ充てていただいても構わない。

[代議員]当同調会では大学の教員派遣制度をよく利用している。本制度の要件で「卒業生を招いて」と記載されているが、本制度で教員等を招く場合は（教員派遣とは異なり）招待にかかる費用を各同調会が負担することになるか。

[答弁]そのようになる。支給する10万円は教員等の招待にかかる費用に充てても、その他の演奏会に関わる費用に充てても構わない。教員派遣は大学主催の事業で、本制度は同調会主催の事業として、年度ごとに毎年行う予定である。

[代議員]申請の手引きと規程の間で、助成対象事業の要件に齟齬があるためあわせていただきたい。また、各同調会のにたちコンサートは卒業生を「招いて」はおらず、会員が集まって行われているが、それも含まれているか。

[答弁]手引きは追って修正する。卒業生の演奏家は要件に合致するので、招くという形を取っていただければよい。卒業生の中には各同調会の会員になっていない方もいるため、「卒業生を招く」という文言としている。

[代議員]当同調会ではくにたちコンサートを近日実施するが、おそらく後援名義申請をしていない。申請要件を欠いてしまうが、この場をお借りしてお認めいただけないだろうか。

[答弁]急遽始まる制度のため、本会議の中で認められればよいと考える。

【議長】今年度既に実施済で後援名義申請が済まされていない演奏会について、申請を受理するかについて審議する。

→挙手による表決をとったところ、賛成多数により上記の場合は申請を受理することとする。

以上の質疑応答を終えて、各同調会主催演奏会助成金給付制度について拍手で承認された。

#### 6. 2024年度 予算書案 <蓮見浩志 総務・財務部経理課課長・代議員>

前項の議事4・5を受け、2024年度予算書案について説明した。予算案は配付資料のとおり。

以上、2024年度の活動計画案、各同調会主催演奏会助成金給付制度および2024年度予算書案について拍手で承認された。

#### 7. 国立音楽大学 同調会規約の改正について<藤沢章彦 副会長>

国立音楽大学同調会規約について、改正案が提案された。改正箇所は次のとおり。

##### 第11条第2～4項

旧) 2 代議員以外の幹事は、幹事総数の半数を超えないものとする。

3 幹事の任期は2年とし、連続して二期までとする。

4 幹事の中から、幹事代表を互選する。

新案) 2 幹事の任期は2年とし、連続して二期までとする。

3 幹事の中から、幹事代表を互選する。

※旧 第2項を削除

(改正理由) 幹事の任期中に代議員を退任した際、規定(第2項)の逸脱となってしまう場合があり、代議員の退任後も幹事の任期を務めていただくため。

以上について質問、意見等はなく、国立音楽大学同調会規約について拍手で承認された。

8. 国立音楽大学 同調会奨学金規程の改正について<藤沢章彦 副会長>

同調会奨学金規程について、改正案が提案された。改正に伴う追加箇所は次のとおり。

新案) 第8条(改廃)

本規程の改廃は、代議員会において行う。

(改正理由) 規程の改廃が明記されていなかったため。

以上について質問、意見等はなく、同調会奨学金規程について拍手で承認された。

9. 役員、会計監査、代議員改選<石本陽子 議長>

幹事、会計監査の改選について議長より説明された。改選については、配付資料、および下記のとおり。(敬称略)

- ・新幹事候補：門脇磨美子、葭田美香、小谷幸久
- ・幹事Ⅱ期目継続：渋谷淑子、神宮寺淑子、田中裕美子、松尾喜一
- ・新会計監査候補：堀江志磨（継続）、小川哲生（継続）

次に、代議員の改選について会長より配付資料および下記の通り説明された。

- ・新代議員候補：成田博之
- ・代議員Ⅱ期目継続：本島阿佐子

質問や意見等はなく、幹事、会計監査、代議員の改選について拍手で承認された。

以上で全ての議事、報告が滞りなく終了し、閉会となった。

以 上